

# 環境に優しい未来をつくる 新多機能水に 問い合わせが殺到

細田電機

つめナビ

vol.8-11

細田電機(大田区南六郷、細田勇蔵社長、03・3735・8817)は、大田ブランドを担う町工場が集積する六郷地区において、昭和43年に変圧器巻線業として独立、昭和48年には、各種変圧器、各種リアクトル、分電盤、制御盤の専門メーカーとして一貫製造工場を設立する。現在は熟練工とハイテク設備の融合による技術が評価され、大手電機メーカーへの直接納入の実績を持つまでに至っている。



「新しい環境技術を開発することが人類最大の課題」と、細田社長

細田社長のモットーは、次世代につながる「環境に優しい未来づくり」であり、低消費・環境型・高利用を考える企業として、同社では環境事業部を立ち上げ、劇物、毒物、毒薬を使わない環境に優しい未来づくりに挑戦している。その理念が形となったものが、遠赤外線調理器や排ガス減少装置の開発であり、内燃機関の改善装置では

アメリカやEUの他、アジア諸国での国際特許を取得している。また同社は、硫酸イオンを含む酸性水及びアルカリ水の開発製造に成功し、特許を取得。この新多機能水は多岐に亘って効果を発揮し、工業用としてはステンレス製の汚れ取りや溶接焼けの除去、チタン発色電解液としての利用が可能である他、殺菌効果により、医療用・家庭用として歯科業界、

美容業界、畜産業界などの衛生対策に利用され、大手薬品メーカーや大学の研究者などから問い合わせや共同開発の打診が相次いでいる。

「生活環境は快適になる一方で、限りある資源エネルギーを決められた範囲内で安全かつ無害に循環させる方法を考え、リスクのない新しい環境技術を開発していくことが、我々人類の最大の課題である」と熱く語る細田社長の新しい挑戦は続く。



新多機能水は、問い合わせが殺到している